

## 令和7年度 第2回野洲市社会教育委員会議

日付	令和7年11月14日（金）
時間	9時30分～11時30分
場所	歴史民俗博物館 研修室
参加者	<p>【出席】佐敷恵威子、松本淳子、板倉祥浩、上田智子、富田由紀子、鷺田新介、小澤郁乃、山口孝志</p> <p>【欠席】西川典子 北脇教育長、田中教育部長、川崎次長 歴史民俗博物館：大岡館長、進藤専門員、渡邊技師 事務局：井狩課長、蜂屋参事、谷主事（生涯学習課3名）</p>

### 概要

#### 【1.開会】

- ・本会議は議事録及びホームページ掲載のため録音・写真撮影を行い、公開とする。

#### 【2.教育長あいさつ】

- ・本日は、第4次野洲市子どもの読書活動推進計画のチェックシート（案）について説明させていただきます。また、歴史民俗博物館職員より歴史民俗博物館の現状と課題について説明させていただいたのち、今後の博物館運営の向上や業務の効率化についてご意見をいただきたい。

#### 【3.議事】

- (1) 第4次野洲市子どもの読書活動推進計画チェックシート（案）について（資料①）記載時の負担軽減およびチェックシートを確認しやすいよう1枚に集約した。

「①実績」は、生涯学習課で関係課に照会をかけ数値を記載する。

「②実績を受けての各課分析」は、①を受けて見えてきた課題や気が付いたことについて、関係課に記入を依頼する。（第4次野洲市子どもの読書活動推進計画に示している取組内容・実現のための施策に基づき実施した事業内容が、どのような影響を与え実績値として現れているか記載する）。

#### 〔委員意見等〕

- ・チェックシート（案）は、今回事務局から提示されたもので承認。
- ・分析に基づき翌年度行動することになるため、年度初めに照会を行うこと。  
→承知した。【事務局】

- (2) 歴史民俗博物館の現状と課題について（資料②）

施設内見学：秋期企画展「野洲川下流域の暮らしの変貌」を見学しながら歴史民俗博物館担当者から説明。

資料②に基づき歴史民俗博物館の令和6年度事業報告、開館時から現在までの主要展覧会の説明、来館者数の変遷について説明ののち、施設が抱えている主要な課題とそれへの現時点での対応について説明。

【委員意見等】

- ・委員：人が来る場所としていいと思う。駐車場もたくさんある。図書館ではイベントでキッチンカーを呼んでいるので、やってみてはどうか。ネーミングライツとスポンサー企業の発掘の状況はどうか。

→博物館内での飲食は推奨できないが、キッチンカーはやってみる価値があると思うので検討したい。

次年度予算の確保のため、ふるさと納税型のクラウドファンディングを政策提案したが採択されなかった。

ネーミングライツは、まだ具体的な取り組みができていない。【歴史民俗博物館】

- ・委員：歴史民俗博物館（銅鐸博物館）が建てられた目的はなにか。

→野洲のシンボルである「銅鐸」を知り、郷土の歴史に触れるとともに、歴史民俗資料を調査・研究・収集・保存する総合機能をもつとともに、来館者が学び体験できる場を提供することである。野洲市は特色がある。こうした良さを多くの方に知ってもらいたい。

一方で、課題や改善すべき点もあるが、それらについても市民の皆さんと考え、一緒に学習をしていく生涯学習施設の役割の一翼も担っていると考える。【歴史民俗博物館】

委員：今の説明内容であるならば、予算を確保してほしい。

- ・委員：パンフレットを見ていると可愛らしい写真があるが、SNSでの発信はどの程度行っているのか。

→市のアカウントなので管理が難しい側面があるが、市HPで発信を行っている。

【歴史民俗博物館】

- ・委員：資料②10ページにある体験学習の件数が少ないのでないのではないか。祇王小学校では6年生が体験学習で火起こし体験などで来館している。小学校3・4年生では昔のことを学ぶので、体験活動ができ、児童が学べるプログラムがあれば近いので利用したいが、現状他市を選んでいる。活用しやすいものを作って、学校や子どもを巻き込んでもらいたいと思う。

- ・委員：今の時代、来場者が撮影し、SNSで拡散する流れは必須だと思う。

施設全体を見ていて映像資料、音声案内が少ない印象を受ける。二次元コードを利用した説明パネルの設置や有料の音声ガイダンスサービスなど個人で自由に聞ける音声案内があるとよい。過去にここで堅穴住居キャンプをしたことがある。そういうことをやってみてはどうか。

・委員：貸館行っているか。

→行っている。【歴史民俗博物館】

委員：社協は利用できるのか。

→ご利用いただけます。積極的にご活用いただきたい。

より多くの方に知っていただき、ご利用いただくための宣伝方法を検討している。

#### 【歴史民俗博物館】

委員：展示を見ていて、発掘当時の様子と、現在の様子を比較できる展示になると、自分事にでき、理解が深まるので良いのではないかと思う。

・委員：子どもを起点として、親が施設に足を運ぶよう動線を作ると良いと思う。子どもの体験学習を大切にして欲しい。年齢に合わせた仕組みが作れたらしいと思う。特に子どもたちの心に残るようなもの。

貸館料金は、市内で統一されているほうがいいと思う。

・委員長：子どもを巻き込むこと、時代に合わせたSNS戦略をすることが大切である。

高齢者にも、お花見やお茶会などで利用してもらうといいのではないか。

一般の方が使える方法を増やしていくことが大切である。

また、市内小学校へのPRをしっかり行っていただきたい。

市内小学校との関りは意見に出ているが、市内中学校には何ができるのかも考えていただきたい。

予算確保は、「あそこが危ない！修理が必要だ」と言い続けることが大切である。  
子どもの頃に歴史民俗博物館で体験をして、大きくなつてもまた行きたいと思つてもらえるような、系統立てた戦略を練ってもらいたい。

#### 【その他】

・しが志縁

・社教連会報

・野洲図書館のイベントの案内

#### 【閉会】